

平成30年度 介護保険事業計画に係る取組と目標の達成状況について

市町村名
備前市

1 自立支援、介護予防又は重度化防止に関する取組
(1)多職種協働による地域ケア個別会議

①定例化 定例化して いる	②開催回数 23 回	③目標(数値等) 24回	④自己評価 各専門職により適切な助言ができています。	⑤課題、今後の方針等 助言者等の拡大などを検討する。	⑥令和元年度の予定(定例化、頻度) 定例化している 月に2回
---------------------	---------------	-----------------	-------------------------------	-------------------------------	-----------------------------------

(2)その他の市町村が設定している取組と目標の達成状況(上記以外)

分類	項目名	目標(数値等)	実施内容・実績	自己評価	課題、今後の方針等
介護予防	介護予防に関するボランティアの育成	100人	備前市独自の介護予防体操である「生きずびぜん体操」普及を目的に、体操リーダーを養成している。	年度ごとに研修修了者は増加し、実際の活動に従事できている。	今後も体操リーダーの養成継続するが、より若い世代への体操への認識にも注力していく。
介護予防	地域サロンの個所数	125箇所	高齢者の閉じこもりの防止、健康づくり・介護予防の促進を図っている。	個所数は増加している。	びぜん体操などのツールの浸透で、継続したサロン運営ができるよう支援していく。
介護予防	地域サロンの参加者数	1900人	サロンの場の拡大とともに参加者数の増加を図り、高齢者の健康づくり・介護予防活動を促進している。	参加者数は増加している。	誘い出しへの工夫をして、閉じこもり防止を目指す。
自立支援	事業対象者の増加	事業対象者+要支援認定者/要支援認定者 115%	要支援状態からの自立の促進や重度化予防を図るため、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の増加をめざした。	事業対象者は増加傾向だが、若干目標に届かなかった。事業対象者に該当する状態の人でも住宅改修等の介護サービスを希望し要介護認定に至ること等、介護認定に至るケースが多かったことが影響したと考えられる。	引き続き、制度の啓発を行う。また、適宜チェックリストを実施し、事業対象者の増加に努める。

2 給付適正化に関する取組
(1)ケアプラン点検

①実施数 51 件	②ケアプラン全数 10,600 件	実施率 0.5%	③アドバイザー派遣受入実績 有	④アドバイザー派遣の受入が無の場合、実績が無い理由、今後の方針等
⑤目標(数値等) 40		⑥自己評価 ケアプラン点検数は、計画通り実施できた。適正化により抽出されたものや介護支援専門員より相談のあったプランを中心に、質の向上を目指し、共に協議することができた。		⑦課題、今後の方針等 アドバイザー派遣による直接指導を受け、自己点検できる介護支援専門員を増やしたい。

(2)その他の市町村が設定している取組と目標の達成状況(上記以外)

※目標、実施内容・実績、自己評価、課題、今後の方針等を記入してください。

○認定調査状況チェックは、全ての調査結果と記載内容を職員が確認すると共に、認定調査員の研修(医療知識の習得)を行った。次年度も継続したい。【達成】 ○住宅改修等の点検については、申請段階で疑義のあったものについて訪問調査を実施することとし、17件を目標にし、実績は14件であった。調査の際に聞き取りをスムーズに行えるよう、介護支援専門員が作成する理由書を具体的に記入するように求めている。【未達成】 ○福祉用具購入・貸与については、目標件数を10件とし、実績は10件であった。過去に同じ品目の購入歴がある場合等に介護支援専門員等に確認をとっている。福祉用具の購入等がケアプラン上必要かどうか、ケアプラン担当者と連携をとり個別にケース確認を行ってきたい。軽度者の例外給付に対しては、全てのケアプランをチェックし、介護支援専門員に聞き取りを行った上で給付対象とした。また、適正化システムにより、調査結果との不整合となったものについては、ケアプランの提出を指示し、介護支援専門員に聞き取りを行った。【達成】 ○縦覧点検については、国保連に委託し、請求疑義がないことを確認した。今後も、国保連の協力を得ながら実施していく。【達成】 ○給付費通知については年2回(8月、2月)全件通知を実施した。今後も引き続き実施予定である。【達成】	
--	--